記事
Mihoko Iijima · 2021年8月30日 2m read

クエリをチューニングする方法

これは InterSystems FAQ サイトの記事です。

InterSystems 製品には、テーブルのコンテンツに関する統計を収集し、クエリの最適化に役立てる「テーブルチューニング機能」があります。

設定方法は、以下のドキュメントをご参照ください。

- テーブルのチューニングについて【IRIS】
- テーブルのチューニングについて

ターミナルでは次のコマンドを実行します。

```
Do $system.SQL.TuneTable("<?????>",0,1)
```

また、以下の資料もご参照ください。

1) パフォーマンス調査の基礎知識として必要なグローバル構造の解説やSQLの動作の仕組みからクエリプランの見方の解説

インターシステムズ・シンポジア2011の資料

2) パフォーマンスチューニングの例（P13～）

インターシステムズ・シンポジア2012の資料

3) ビットマップ・インデックスの圧縮やオプティマイザ・ヒントなど、Caché
SQLのパフォーマンスを最大限に引き出すための情報について

インターシステムズ・シンポジア2014の資料

4) パフォーマンスに困ったときにどこに着目し、どのツールで調べていくか、お客様から日々ご相談をいただくカスタマーサポートから、解決に向かうアプローチの「イロハ」をご紹介するビデオ

動画：Performance 101

5) 開発者コミュニティのパフォーマンス関連情報（performanceタグ）

performanceタグ

関連する以下記事、FAQトピックも併せてご参照ください。

- クエリプランの見方を教えてください

- 外れ値について
- 選択性の数値について

#SQL #パフォーマンス #ヒントとコツ #Caché #Ensemble #HealthShare #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health

---

ソースURL:
https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%82%AF%E3%82%A8%E3%83%AA%E3%82%92%E3%83%81%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95